

JEFF ROWLAND
MONO POWER AMPLIFIER / DC 9

オーディオとは、演奏家のイメージ表現を、時を越え、空間を越えて再現することにあります。私達聴き手が演奏家の存在を視覚的に捕えるのみならず、その存在を実際に“感じる”ことができたなら何と素晴らしい事であろう、と思います。私達が音楽を体験するため、全く新しい概念で開発された一つの作品をここにご紹介いたします。それは、究極のアンプに向けての大いなる前進を成し遂げた静かな革命です。優れた芸術作品には時間を超越した気品と美が生まれながらにして備わっています。DC9において、その性能に加え、存在が全てを語り、アンプが一つの工芸作品となりました。私達一同、新たなオーディオの夜明けを皆様と味わうことができる喜びを感じております。

DC電源のパワーアンプは理想とされていましたが、その多大な消費電力のため、実現不可能とされていましたが、遂にDC電源を装備したアンプが登場しました。ユーザーは電源問題から完全に解放され、理想の音楽再生を追求することができるようになったのです。これは、パワーアンプ開発における革命です。

DC電源は4個のバッテリーにより供給されます。使用されるバッテリーは室内での使用を前提とした医療機器、コンピューターバックアップ電源用の極めて安定度が高いクリーンエネルギーです。しかも、演奏時間はチャージモードをキープすれば、ほぼ間断なく演奏が出来るのです[チャージモードでない場合(AC電源を抜いた場合)、バッテリーの充電状況にもよりますが、通常の使用条件でフルチャージされている場合、2~4時間使用可能]。しかも、供給可能なピーク電流は500A。どんなスピーカーをも楽々と扱えます。こんな理想を可能にしたのは、極めて省エネルギー化されたアンプ本体の回路構成が出来上がったからです。今だかつて私達が体験したことのないような音楽表現を、J. ロウランド デザイン DC9は達成しました。

完璧な再生音を求めて、J. ロウランドは非常に微細なレベルから各部を再検討、それを統合し、一貫性をもたせ、美しい花が微小な分子構造の集合体であるように、開花させました。物理的振動の無いシャシー構造をミクロの眼で追い求め、パワーサプライを前人未踏のDCバッテリードライブとしました。精緻な音楽

信号をありのまま認識し共振やひずみなどの不要な信号を加えずに精緻なままに増幅、それを理想の電源で、クリーンにドライブします。音楽の一粒一粒の構築物は、ミクロのレベルで行なわれ、ラージフォーマットの写真のように精密で陰影に富み、演奏家の表情さえ感じられる音楽を目の前に再現するのです。バッテリー電源は、マシンカットされたシャシーに4台収められ、チャージサーキットは、一機が2台のバッテリー充電を受け持っています。回路構成、機械物理的構成、ピュアDC電源と、理想な形でのステレオアンプの実現に成功、全く異次元の音場、音質を再生する夢のアンプがご紹介できる時代となりました。

リアパネルに取付けられたモジュールはシングルエンドインプットをバランスに変換、CMRRを広帯域に渡って最適化するトランスインピーダンス出力ブロックをドライブするバッファアウトプットに高電流を供給する作業を行ないます。更に、ヒートシンクにカップルされた2機のドライバーステージモジュールは、お互いに逆相信号を供給、出力段を経てスピーカーターミナルにディファレンシャルバランス出力信号を供給します。この2つの出力ブロック電源は外部シャシーのDCパワーサプライで、ピーク時供給電流500Aの強力かつ高純度DCパワーサプライ。電源からのアンプ回路への影響を完全隔離、ノイズ、歪のレベルが他の構造の優れた機器と比べても格段に少なくなっています。又、このパワーサプライは、作動時の負荷変動に対し、絶対的超安定電源であり、AC電源のように鋸歯の様な鋭いリップル波形により錯乱されたハイオーダー、高増幅段ハーモニクス成分が全く発生しません。パワーサプライ全体の共振を5Hz以下に抑えたモデル9のACパワーサプライに比べても優れ、アンプ作動に及ぼす影響を完全に無にするという目標を達成しピュアDC電源による理想のクリーンドライブが完成したのです。

4機のシャシーは、宇宙軍需産業用メーカーで分厚い航空機用6061ジュラルミンブロック精密削り出し、ヒートシンクはシャシー一体で共振を完全に抑えるべく

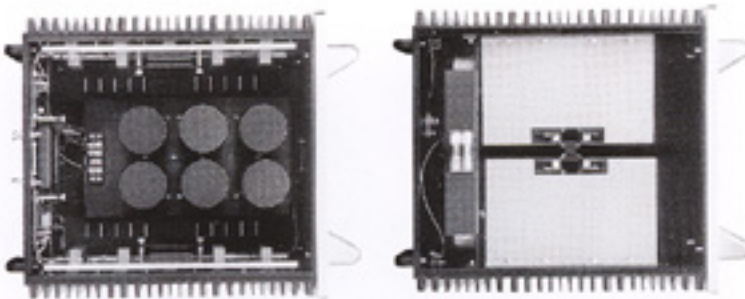
フィン厚を黄金比に配置した設計。共振の完全制御にその発生源から挑戦し、成功しました。このヒートシンクブロックに直接、厳選・選別マッチングされたトランジスタと共振対策の施されたモジュールを特殊制振材とボルトによって取付け、完璧にヒートシンクと一体化、音楽信号のデリカシーをそのまま増幅します。

使いやすさもDC9の特長の一つです。リアパネルにはミューティング、フェイズ変換、インプットインピーダンス変換、ゲイン変換スイッチを装備、バイアス、ヒートシンク温度を絶えず高精度モニターで検知し、外部温度に関係なく一定の温度、バイアス電流を保証、常に最良の状態で作動することを約束します。又、大切な音楽信号の流れる入出力端子も空芯スピーカーターミナル、ロジウムRCAジャック、金メッキXLR等、高品位部品をふんだんに使用、更に内部回路との機械的インピーダンスマッチまでにも気を配りました。



しかも、このアンプは年月と共にまるでワインのように静かに熟成していきます。モデル9をお求めのユーザーの方々から、いつになったら音がよくなるのが止むのか、と洋の東西を問わず嬉しいコメントが寄せられています。よりしなやかに、よりシャープにと、優れたアンプは愛情を込めた使い手に寄り添うごとく、熟成していくのです。

私達のめざすオーディオの世界、それは、目を閉じれば演奏家がそこに現われ、聴き手のために音楽を最高の状態で奏でること。限られた時間に最高の楽しみを与えてくれる、機械にではなく、聴き手自身の時間に対する投資に値する、優れた機器を提供することにあります。私達の貴重な時間を、常に最高の音質・音場で再現したい。それがオーディオメーカーの義務であり、責任なのです。



JEFF ROWLAND MONOPOWER AMPLIFIER / DC 9

Output power per channel	8 ohms 4 ohms 2 ohms	100w(continuous RMS watts) 200w 300w
Power bandwidth	0.1Hz to 160k Hz, -3dB	
THD and noise	less than 0.1% (within audio Bandwidth)	
Damping factor	Greater than 100, 20Hz - 20k Hz, 8 ohms	
Output current	50A continuous, 100A peak	
Overall gain & sensitivity	26dB or 32dB, user selectable, 141mV or 71mV	
Input impedance	single ended balanced	50k or 300 ohms, user selectable 100k or 600 ohms, user selectable
Common Mode Rejection Ratio(CMRR)	Greater than 75dB, 20Hz - 20k Hz	
Absolute phase	User selectable on back panel	
Input mute	User selectable on back panel	
Power consumption	50w stand by, 100w operating (*)	
Inputs	User selectable on back panels. RCA(2) XLR(2)	
Outputs	2 pairs binding post	
Dimensions	Power Amplifier	44.5cm(W) x 56cm(D) x 28.5cm(H)
	DC Power Supply	44.5cm(W) x 56cm(D) x 28.5cm(H)
Weight	Amplifier	41kg
	DC Power Supply	64kg

*バッテリーチャージキャパシティーにより異なります。◆規格等は改良のため予告なく変更されることがあります
◆オプションパーツ: ゴールデンセクション剛切出しトッププレート。